

あきる野市中学校部活動の地域移行（あきる野版地域部活）

中学校の部活動は義務教育において、会費や部費は殆どなく活動することができ、他者から認められることで自信がついたり、生涯の仲間を得るなど、大きな役割を担っている。未来を担う子どもたちの育成のために、安全に安心して活動できる「あきる野版地域部活」の確立を目指します。また、技術、技能、熱意等のある地域人材を発掘し活用することで、地域で子どもたちを育てる環境づくりを目指します。

ステップ1（現状の把握）※指導室

土日活動している部活動の把握

- ・部活動数、各部の部員数、各種目及び種目数、各指導者の形態及び人数（教員・外部指導補助員）

※平日のみの部活動は対象外

ステップ2（教職員希望の有無）※指導室

土日部活動の指導についての調査

- ・希望する場合…1日、半日、※2日（大会時等）
- ・希望なし

※種目及び人数の把握

ステップ3（地域指導者の確認）※生涯学習担当

- ・NPO法人あきる野市スポーツ協会（以下協会）及び文化団体連盟（以下連盟）内の人材の発掘（経験者、指導者資格等）種目、人員の確認

ステップ4（準備会の発足）※指導室・生涯学習担当

- ・指導室、生涯学習において、現状のすり合わせ、それぞれ核になる教員及び協会、連盟の役員、指導者による準備会の発足

ステップ5（組織化）※指導室・生涯学習担当

- ①希望する教員及び指導者による組織化（協会内の指導者部門へ所属）
- ②拠点校（部活）を選定（令和6年度は2～6校）
- ③必要経費の算出

ステップ6（市の予算化）※指導室・生涯学習担当

- ・協会及び連盟からの必要経費を予算化
- ※協会及び連盟のコーディネーター事務費含む

ステップ7（指導者の派遣）※協会・連盟

- ・土日の部活動に地域指導員を派遣（教員が兼業を希望する場合は地域指導員となる）。
- ・当面、中学生からは会費を取らず保険料・交通費のみを実費とする。
- ・教員及び地域指導員が連携することで、生徒は安心して部活動に参加。

活動場所は中学校施設を基本とする

ステップ8 「あきる野版地域部活」の確立

将来、あきる野版地域部活で育った生徒たちが、指導者になるなど、若い世代が地域を誇りに思い循環型社会につながる（可能性）